

## ご存じですか？ ヤングケアラー 相談したいと思われる大人になるために

4月、国が公表した調査結果で、ヤングケアラーが中学生の17人に1人、1クラスに2人程度いることが分かりました。

ヤングケアラーとは、本来は大人が担うと想定されている介護や家事などを日常的に行う18歳未満の子どもとされています。

### 1日7時間以上

介護など身体的なケアだけでなく、料理や洗濯などの家事、幼いきょうだいの世話など、中学生では平日平均で4時間を費やしており、1日に7時間以上世話をすると回答も1割を超えます。

また、同情されたくない、家族を悪く思われたくない、学校ではみんなと同じでいたい、などから誰にも相談したことがない子どもは7割に上ります。

さらに、周囲から孤立していき、その後の人間関係や就職活動に深刻な影響を及ぼすケースもあると言われています。

### 私たち大人がすべきこと

同世代の多くの友達が、部活動や遊び、進学していくなか、同じ生活はできず、人知れず苦しむ子どもがいます。笑顔の裏では、誰にも相談できないつらい想いを抱える子どもが実際にいます。

子どもの心を開かせるのは簡単ではありません。だからこそ、「この人になら話してもいいな、相談したいな。」そう思われる大人であることが大切です。

私たち大人が見守り続け、声をかけ続ける。それが支援につながるきっかけになるはずです。